

---

◎議案第45号 定住自立圏形成協定の締結について

○議長（山本浩平君）日程第8、議案第45号 定住自立圏形成協定の締結についてを議題に供します。

提案の説明を求めます。

高橋総合行政局企画担当課長。

○総合行政局企画担当課長（高橋裕明君）議案第45号でございます。定住自立圏形成協定の締結について。

次のとおり苫小牧市との間において定住自立圏形成協定を締結することについて、白老町議会会議条例第7条の規定により議会の議決を求める。

平成27年2月23日提出。白老町長。

議案説明でございます。議の45-8ページをお開きください。

東胆振圏域における定住自立圏構想の推進については、昨年5月に開催された平成26年度東胆振広域圏振興協議会総会における合意形成、7月の苫小牧市による「中心市宣言」以降、定住自立圏形成協定の締結に向けた協議を進めてきたところであるが、今般、協定内容についての協議が調ったことから、苫小牧市との間において定住自立圏形成協定を締結することについて、白老町議会会議条例第7条の規定に基づき、議会の議決を求めるものである。よろしく、ご審議のほどお願いいたします。

○議長（山本浩平君）提案の説明が終わりました。

これより本案に対する質疑を許します。質疑があります方はどうぞ。

13番、前田博之議員。

○13番（前田博之君）1点だけ伺います。定住自立圏形成、これ本当に国の思うように進めば、かなり白老町も恩恵あると思いますけども、ただ今後の予定の中で、27年4月に圏域住民で構成する圏域共生ビジョン懇談会を設置するとなっています。その圏域住民で構成する、ここに出てく人は非常にこの役目が大事だと思うのですが、どういう方が行くのか、民間人なのか行政の経験者行くのか、町長がなっているのか、その辺です。非常にその人選について、それ相当の専門知識とか知見のある人でないと白老町の考えは反映されないと思うのですが、その辺はどういう形になっておられるのかと思っております。

○議長（山本浩平君）高橋総合行政局企画担当課長。

○総合行政局企画担当課長（高橋裕明君）ただいまの共生ビジョンの懇談会のメンバーの関係でございます。この共生ビジョンの内容としましては、大きく3分野でございますが、その中に医療福祉、教育産業、交通ですとかその他いろいろな項目がございます。現在苫小牧市との間では1市4町において、約3名から5名の推薦を各町からいただいて、全体で15人程度の懇談会を設置するというところでございます。白老町におきましても、この分野に精通している方を、職員ではなくて、推薦してメンバーに入っていくという予定をしております。

○議長（山本浩平君）13番、前田博之議員。

○13番（前田博之君）3分野にそれぞれ出るということですか、3名から5名ずつ。それと行政の人方でないですから、多分私の推測で言えば、医療関係いけば町内の医師会の会長さんだとか、そういう医療

に詳しいとかですけど、その方がここで意見を反映するのですけど、全体の白老町としての第5次総合計画とかいろいろな政策を持っていますよね、町政や計画。その整合性をどういふので反映するのか、ただその人たちに任せっぱなしでいくのか、当然町側と白老町のこの懇談会の委員になった人は、白老町としての公的に意見を反映するという部分についてはどのような形の中で、その懇談会に行つて意見を述べることか、それ以前の得たことに対する戻つてきてこうだろうという部分の整理についてはどういふふうにされるのかということをお伺いします。

○議長（山本浩平君）高橋総合行政局企画担当課長。

○総合行政局企画担当課長（高橋裕明君）まず1点目の3分野一人ずつなのかということにつきましては、いやそういうことではなくて、町としても重要で強調したい分野の方を推薦していきたいと思つています。当然その方たちが個人的にその出席して意見を申し述べるということだけではなくて、事前に町との調整をして懇談会が終わりましたらその報告も受けながら、町との調整を図つてまいりたいと思つています。

○議長（山本浩平君）ほか、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君）質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君）討論なしと認めます。

これをもって討論を終結いたします。

採決いたします。

議案第45号 定住自立圏形成協定の締結について、原案のとおり決定することに賛成の方は、挙手を願います。

〔挙手全員〕

○議長（山本浩平君）全員賛成。

よつて、議案第45号は、原案のとおり可決されました。